

国際シンポジウム

文化の汽水域

～東スラヴ世界の文化的諸相をめぐって～

入場無料

途中入退場
自由

日時：11月1日(水)

場所：東京外国語大学（府中キャンパス）
研究講義棟 422 総合文化研究所会議室

共催：東京外国語大学総合文化研究所

プログラム

- 12:40～12:45 開会の挨拶
- 12:45～13:30 越野剛（北海道大学）：スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ作品の形式的側面について
- 13:30～14:15 大森雅子（東京大学学術研究員）：ミハイル・ブルガーコフの「まち」—作家の原点としてのキエフ
〔14:15～14:25 休憩〕
- 14:25～15:10 原真咲（東京外国語大学大学院博士後期課程）：コサックのバーイダ、またはドメイトロー・ヴィシュネヴェーツィケイ公のマニエリスト的転回
- 15:10～15:55 オレスタ・ザブランナ（リヴィウ国立大学）：現代ウクライナ語における属格の対象的用法—イワーン・ネチューイ＝レヴィーツィケイの作品を基に—
〔15:55～16:10 休憩〕
- 16:10～16:55 塩川伸明（東京大学名誉教授）：グリゴリー・ヨッフエのベラルーシ論とアレクシエーヴィチ
〔16:55～17:00 休憩〕
- 17:00～17:30 全体ディスカッション
- 17:30～17:35 沼野恭子（東京外国語大学）：閉会の辞
司会進行：前田和泉（東京外国語大学）

このシンポジウムは科学研究費基盤（B）
「ロシア・ウクライナ・ベラルーシの文学と社会に関する跨橋的研究」
（課題番号 15H03192、代表：沼野恭子）により開催されます。

連絡先：前田和泉 maeda@tufs.ac.jp